



—記者発表資料—

平成 29 年 4 月 18 日  
日本下水道事業団

—平成 29 年度下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）—  
「高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実用化に関する  
実証事業」の共同研究体合意書調印式について

日本下水道事業団と三菱化工機（株）・九州大学・唐津市で共同提案していた「高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実用化に関する実証事業」が、国土交通省の実施する平成 29 年度「下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）」に採択されました。ついては、本実証事業を開始するに当たり関係者の合意書調印式を以下の通り開催する運びとなりました。

合意書調印式の概要

日 時	平成 29 年 4 月 24 日（月）午後 3 時～午後 4 時
場 所	唐津市役所 TEL 0955-72-9111（代表） 佐賀県唐津市西城内 1 番 1 号
主 催	共同研究体
出席者	唐津市長、日本下水道事業団理事、各共同研究体代表者他
問合わせ	唐津市企画部企画政策課 小田係長 TEL 0955-72-9207

今回提案し採択された実証技術は、

- 1) 無動力攪拌式消化槽
- 2) 高効率加温設備（可溶化装置）
- 3) 固体酸化物形燃料電池（SOFC）

の 3 つの設備を組み合わせた高効率消化施設です。

これまで利用されていなかった地域バイオマス（OD 脱水汚泥、食品廃棄物等）のエネルギー源としての利活用及び上記の高効率消化施設によって、下水処理場におけるエネルギー自給率向上を実証するものです。

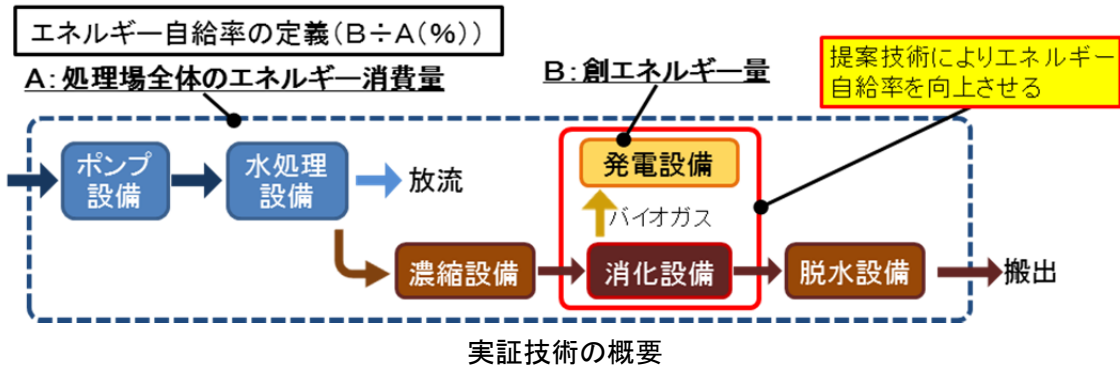
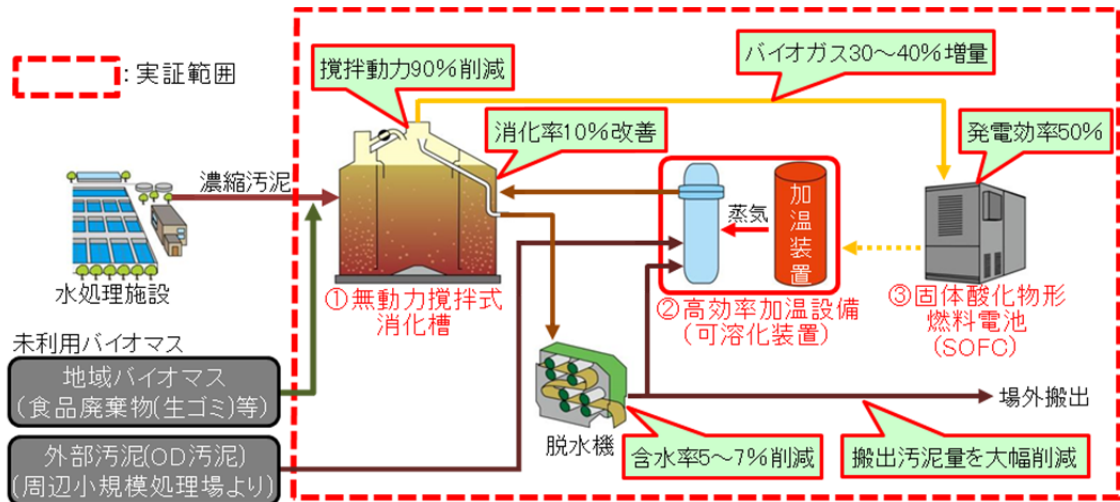
本事業に期待される効果は下記のとおりです。

- 1) 未利用地域バイオマス（OD 脱水汚泥、食品廃棄物等）のエネルギー源としての利活用
- 2) 地域バイオマスの利活用とエネルギー回収効率の向上による下水処理場におけるエネルギー自給率の向上
- 3) 無動力攪拌式消化槽による維持管理費の低減、高効率加温設備（可溶化装置）の消化脱水汚泥含水率低減効果によるライフサイクルコストの縮減

実証プラントは唐津市浄水センター内に建設し、各種実証試験を行う予定です。

※合意書調印式の現地取材をご希望の場合は、4 月 21 日（金）正午までに広報室までご連絡下さい。

※合意書調印式の式典状況写真をご希望の場合は、4 月 25 日（火）以降にお渡しできますので、資源エネルギー技術課までお問い合わせ下さい。



(問い合わせ先)  
 JS 技術戦略部  
 資源エネルギー技術課長 三宅 晴男  
 TEL : 03-6361-7853  
 FAX : 03-5805-1828  
 E-mail : Miyake@jswa.go.jp